

9カ国の文化遺産観光の専門家が 京都・奈良・滋賀を視察

～文化遺産を活用した持続可能な観光の未来を切り開く～

観光産業は、既存の国内資源を活用することで外貨獲得や幅広い関連業種の雇用吸収が可能な、開発途上国にとって非常に有望な産業です。しかし、観光資源を有する開発途上国の多くは環境破壊や文化・自然遺産の損壊、地域住民の生活への悪影響といった課題に直面し、貴重な遺産を有効に活用できていない現状があります。

9月25日から10月31日まで実施するプログラム「文化遺産および地域社会と共生する持続可能な観光開発」では、開発途上国で文化遺産観光に従事する行政官や専門家が来日し、観光資源を活かした経済発展目的だけでなく、地域の自然景観や歴史的建造物、生活文化や伝統を保持・発展させるための持続可能な観光を開発する方法を探ります。

本プログラムでは、地域主体の文化財保全や観光開発、ユニバーサルツーリズム、防災に焦点を当てた講義や視察等に加え、歴史的景観保全計画が専門の立命館大学・山崎正史名誉教授の指導のもと、京都、滋賀、奈良で文化遺産を巡りながらフィールドワークを行います。地域のアイデンティティが確保され、住民が誇りを持ち、生きがいを感じられるための観光開発のエッセンスを学ぶこのフィールドワークを、ぜひ取材ください。

【実施概要】

取材可能日	2024年10月11日(金)、14日(月)、17日(木)、22日(火)
プログラム・場所	別紙参照
参加者	エジプト、ヨルダン、ラオス、ミクロネシア、パレスチナ、パプアニューギニア、セントルシア、ソロモン、スリランカからの9か国、10名 ※観光関連省庁、政府観光局、地方自治体職員他 ※個別インタビュー不可の参加者もいますのでご理解ください。
言語	英語(通訳あり)

【問い合わせ先】 ※取材をご希望の場合は必ず事前にご連絡ください。

JICA 関西 研修業務課 上野 美咲 (うえの みさき)

TEL 078-261-0383 (代表) 050-1800-3225 (直通) e-mail Ueno.Misaki@jica.go.jp

別紙

日付	開始	終了	内容	場所
10/11(金)	10:00	16:00	京都のまち歩き	八坂神社-円山公園-産寧坂(産寧坂伝統建造物群保存地区)-清水寺
10/14(月)	13:00	16:00	京都のまち歩き	金閣寺
10/17(木)	9:00	18:00	奈良の旧市街・奈良街	奈良公園、東大寺、平城宮跡いざない館
10/22(火)	10:00	16:00	滋賀のまち歩き～長浜～ 都市の持つ地域文化遺産 の発見と活用	長浜市曳山博物館、長浜城歴史博物館、 長浜別院大通寺他

※雨天の場合変更になる可能性があります。